

スキルWG 活動/ロードマップ

- **ゴール**:情報セキュリティ人材像の分析、定義付け、キャリア直結型の人材育成マップ提示
- **活動内容**:
 - 人材象の検討
 - 利用者から見て出来る限りダブらず、わかり易い全体体系の整理
 - 上記達成に向けて、既存の2次元モデルに固執せず、3次元モデル導入などの検討
 - 実用的なキャリアパスの提示
 - 人材像の実証実験
 - 上記人材像の構築を、業界から選択した若手・中堅人材に参加してもらっての実証実験を実施

スキルWG 活動/ロードマップ

- 活動の方向性
 - 既存の人材育成に関する報告書の分析
 - 人材育成サイドのニーズの検証
 - ニーズに合わせた人材育成マップの軸確定
- 成果物イメージ：
 - 人材育成マップ
 - 職種・スキル・アウトプットの関連付け
 - 既存の教育・資格制度との紐付け
 - 上記をベースにしたキャリアパスの提示→3次元でのマップ作成
- ※ 育成マップの中で必要とされているも既存にない教育・資格制度については本ISEPAの中で解を提示していく事を検討していく
- ※ 成果物については、市場に幅広く提供し、国としての政策への取り入れなどについても働きかけを検討していく

人材育成MAPイメージ（案）

職種	スキル
A	1
B	2
C	3

スキルは、「何を知っているべき」を抽出する。(例) 職種Aは、暗号学とアクセス制御を知っているべき

職種	アウトプット
A	ア
B	イ
C	ウ

アウトプットは、「何ができる」を抽出する(例) 職種Aは、セキュリティポリシーが作れ、社内教宣ができる

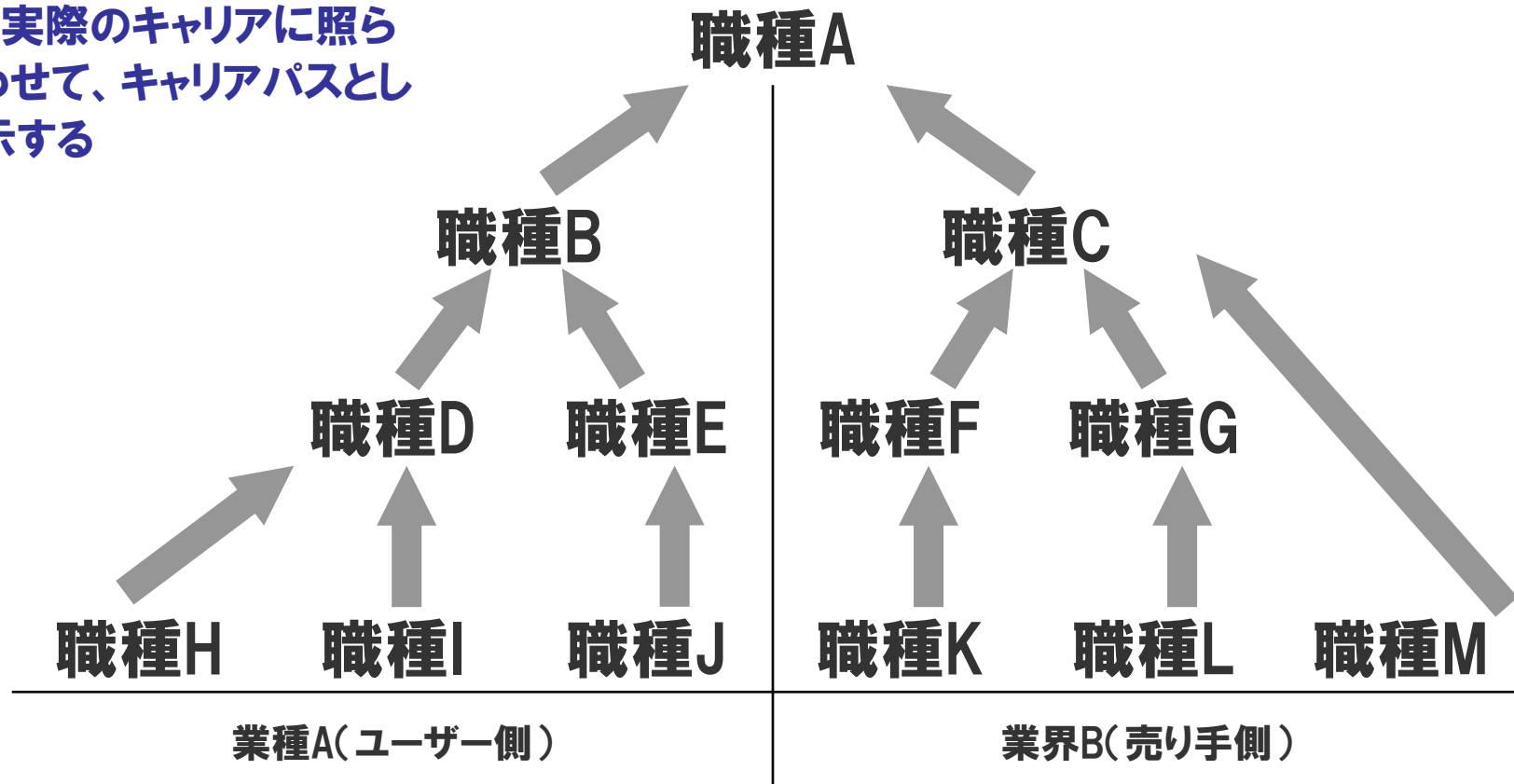
職種	スキル	アウトプット
A	1	ア
B	2	イ
C	3	ウ

人材育成MAPイメージ

職種	スキル	アウトプット	教育	資格
A	1	ア	a,b	g
B	2	イ	c	
C	3	ウ	d,e,f	h,i,j

キャリアパス イメージ (案)

人材育成MAPで抽出した職種を、実際のキャリアに照らし合わせて、キャリアパスとして提示する



人材育成マップ・作成作業フェーズ ー現在まで

- 市場に存在する情報セキュリティに関する「職種」をWGメンバー個人の知識及び各種報告書などに羅列してある物でリストアップ
- アウトプットとの紐付けをする作業に入る前段階として、アウトプットの洗い出し → アウトプットを「業務項目」として定義
- 業務項目の洗い出しに際しては、政府文書(別紙1)記載のキーワード抽出をリスト化 → 日本においてどういう業務項目が求められているかをしる為に必要と判断
- これらを何らかの軸を定義することで分類する → 次ページに分類項目を表示

人材育成マップ・作成作業フェーズ

アウトプット(業務項目)分類イメージ

アウト プット (業務項 目)	業務フェーズ						フェーズ外		
	要件 定義	設計	構築	試験	導入	活用・ 運用	教育	監査	研究
A	X								
B						X			
C									X
D	X	X							

※複数フェーズにまたがる業務項目もあり得る

※「教育」「監査」「研究」に関しては、通常の業務フェーズでは分類できない為、今回の分類からは除外とする。但し、各フェーズ内での当該業務については、なるべく含めていくものとする